

2-7 学校教育

(1) 施策と事業一覧

学校教育分野の柱：

竹のようにしなやかに、石のようにどっしりと、自らに誇りをもつ教育

教育環境の充実

スクールバスの弾力的運用・機能向上

- スクールバスによる通学時間の短縮に努め、路線や台数の調整など弾力的に運行する
- 渋滞などによる遅れを保護者が把握できるよう、運行状況（現在位置）を確認できるシステムを活用する

運動施設の活用

- 村のスポーツ施設を活用した、子どもたちの体力向上プログラムを充実する
- 村のスポーツ施設を保護者や高齢者等の村民、さらには村外の子どものちとの交流拠点として活用する

充実した教育活動

ふるさと教育^{※1}の充実

- 村の歴史や文化、自然、産業など、飯舘村についての理解を深める教育を充実する
- 保護者や地域住民の方による教育機会を積極的に設けるなど、学校支援体制を拡充する
- 【重点事業】しみじみマスタープロジェクト等食文化継承事業（⇒P52）

個性を育む教育の充実

- 子どもたちが将来、進学や就職に際して適切な情報に基づき適切な判断ができるよう、進路相談・支援を充実する
- 子どもが自分で将来の生き方を考え、選択できるよう、職業に対する理解を深める教育や、社会人になっていく上での責任感やコミュニケーション力等を育成するための教育を充実する

次ページに続く

※1 ふるさと教育：幼児児童生徒が郷土の自然や人間、社会、文化、産業等と触れ合う機会を充実させ、そこで得た感動体験を重視する（文部科学省）教育のこと。飯舘村立いいたて希望の里学園では「いいたて学」という教科を設けて、ふるさと飯舘村の人、物、歴史、文化、産業などについて学ぶことにより村についての理解を深めている。

学校教育分野の柱：

竹のようにしなやかに、石のようにどっしりと、自らに誇りをもつ教育

充実した教育活動

子どもの健康管理と体力の向上

- 学校や学校外の保健・医療機関等の連携により、肥満や虫歯、テレビ・ゲームの長時間接触等子ども一人ひとりの健康課題に即した指導を行う

心の教育

- いのちの大切さや感謝する気持ち、思いやりの心を育む教育を充実する
- 地域の人材や資源を活用した体験活動を推進する
- 相談員を配置するなど、子どもたちの心のケアや健やかな成長支援を充実する

●【重点事業】いいたて留学事業（⇒P53）

特色ある教育活動

義務教育学校の連携促進

- こども園から義務教育学校まで一貫したカリキュラムの編成と、園児・児童・生徒の交流機会を拡充する
- 前期課程（小学校）における一部教科担任制や、小中学校教員の相互乗り入れ指導、異学年交流など、義務教育学校のメリットを最大限活かし学力向上を図る

ICT（情報通信技術）等を活用した教育の展開

- タブレット端末を活用し、協働学習やオンライン学習などICT教育を推進する
- 飯舘村デジタルアーカイブ^{※1}を使用し、村の歴史やアイデンティティ^{※2}をつなぐためのふるさと教育を行う

学習・体験機会の充実

- 少人数学級の利点を生かしたきめ細かな授業や、自然体験・社会体験・文化体験など多様な学習・体験機会を提供する
- 村に一つの学校として、地域に開かれた学校を目指し、PTA活動やボランティア活動を支援する

※1 飯舘村デジタルアーカイブ：飯舘村の記録写真やイベントの動画等を閲覧できるホームページ。

※2 アイデンティティ：「同一性」や「一致」のことで、環境や時間の変化に影響を受けず、連続する同一のものであるということ。「自分らしさ」「村らしさ」をさす。

(2) 重点事業

事業名 しみじみマスタープロジェクト等食文化継承事業

村の郷土料理や食文化について、素材の栽培から加工、調理までの工程を、子どもたちが体得できる教育を行います。子どもたちに郷土の食文化が継承されていないため、義務教育学校の特色を活かして問題解決を図ります。素材となる野菜を育てるところから、加工、料理するところまで9年間で「体得する」ことを目指します。ふるさとの食文化を体得している子どもは稀であり、「ふるさと」という個性を持つ子どもの育成に通じます。大人には加工、栽培の指導・協力で参加してもらいます。まずは事業名の由来にもなっている凍み餅・凍み豆腐・凍み大根を実施し、そのほかの郷土料理等も随時検討します。

【工程表】

年度	全体	村民	村（教育課）
R3	・学習内容検討	・指導者募集への応募	・指導者募集 ・教育課程編成
R4	・凍み加工品づくり ・米、豆、大根の栽培	・加工指導 ・栽培指導	・凍み加工品の栽培、加工、 調理の授業開始
R5			
R6			
R7	↓ ↓	↓ ↓	↓



事業名 いいたて留学事業

村の学校に通う子どもたちが、共同生活を行いながら通学する合宿活動や、村外の子どもや親子を短期的に受け入れる事業を行います。

村外へ引っ越した子どもが不登校になるケースがあるとの悩みから、心の教育の一環として安心できる居場所や時間を提供すると同時に、長時間通学に悩む親子の一助となることを目指します。

村内合宿の再開から始め、合宿生の受け入れ先として世話人を募集します。

【工程表】

年度	全体	村民	村（教育課）
R3	・実行委員会設立 ・実施内容等検討	・世話人会議 ・役割分担決定	・世話人募集
R4	・合宿通学実施 （遠距離で通学中の児童・生徒対象）	・世話人として留学受入れ	・合宿参加者募集 ・留学生募集
R5	・留学受入れ （任意の村外の児童・生徒対象）		
R6			
R7			



2-8 社会教育

(1) 施策と事業一覧

社会教育分野の柱：ふるさとをみつめ、ふるさとに学び、ふるさとと歩む

学びの場の提供

自主団体への支援

- 一人一趣味の推進等、村民によるスポーツ・文化クラブ、サークル活動を支援する
- 社会教育団体を育成、活動を支援する

体験学習の充実

- 郷土文化・歴史を学ぶ修学旅行や、国際交流プログラム等、感動体験学習を充実する
- 【重点事業】里山学びのクロカン等体験学習事業（⇒P55）
- 【重点事業】厳寒キャンプ事業（⇒P55）

教室等イベントの実施

- 生きがい・暮らしの充実のため、各種講座を開催し交流を図る
- 【重点事業】「時を満喫・人生をもっと楽しく」講座（⇒P56）

家庭教育推進

- 家庭における子育て支援のため、義務教育学校卒業までの家庭教育講座講師料を支援する

読書の推進

- 子ども園等での読み聞かせ会、交流センター等蔵書の更新等村民の読書環境の充実を図る
- 【重点事業】「いい本、たまには、てにする」運動（⇒P56）

スポーツ活動の充実

スポーツの奨励

- 各種スポーツイベントを開催するほか、各種大会参加への支援を行う
- 交流を目的としたスポーツプログラムを充実する

交流の波及効果を目的とした施設の利活用促進

- 保護者や高齢者等の村民、さらには村外の方々との交流拠点としてスポーツ公園やパークゴルフ場の利活用を促進するとともに村のイメージアップを図る
- 運動公園と他の村公共施設等との連携をすすめ、村内外からの利用者に対し利便性の向上を図る

スポーツクラブの育成支援

- スポーツ団体の育成・活動の支援を行う

(2) 重点事業

事業名 里山学びのクロカン※¹等体験学習事業

ふるさとの自然や暮らしの文化を学び、親子のふれあいを促す村の自然を活かしたプログラムの一つとして行います。震災後ふるさとの山を歩く機会が減少したとの現状から、環境の改善に合わせ、そのような体験機会をふやし、ふるさとの山野について学ぶことと合わせ子どもの運動不足解消を目指します。初年度はもりの案内人、スポーツクラブ等と協力し、既存のパンフレット等をもとにコースを精査します。この事業では、ふるさとの自然や文化に親しむことが主目的であるため、いかに楽しめるコース設定とするかを吟味します。

【工程表】

年度	全体	村民	村（生涯学習課）
R3	・内容精査 ・プレ実施（コース精査）	・もりの案内人、スポーツクラブ等の協力	・関係団体調整
R4	・検証、修正、実施 開催地コース精査		・内容に応じて他部署と連携して参加者募集(春 or 秋実施)
R5			
R6			
R7	↓	↓	↓

事業名 厳寒キャンプ事業

村の自然に親しみながら健康づくり・体力づくりとなる活動の一つとして、名前のとおり厳寒期にキャンプを行います。しばれるような寒さは村の特徴の一つです。楽しみを通して子どもや大人の交流不足を解決します。

事業はスポーツクラブ・レクリエーション協会等の組織と協力しながら進め、活動を通して今は疎遠になってしまったようなPTAや地域の大人の巻き込みを図ります。実施後はアンケートを行い、満足度を指標として改善を重ねていきます。

【工程表】

年度	全体	村民	村（生涯学習課）
R3	・内容精査 ・プレ実施	・スポーツクラブやレクリエーション協会の協力	・関係団体調整
R4	・検証、修正、実施		・参加者募集（2月頃）
R5			
R6	・開催場所等見直し		
R7	↓	↓	↓

※1 クロカン：クロスカントリーの省略語で、野原や森林地などに設定されたコースで行う長距離走。

事業名 「時を満喫・人生をもっと楽しく」講座

苦手を克服し、人生をもっと楽しくするために、ライフステージごとの課題に応じたプログラムを提供します。現在の講座等は女性向けが中心であり、男性の参加しにくさがあります。男性や高齢者等の暮らしに関わる問題点を解決する（例：男の料理教室、高齢者スマホ教室など）ことで、人生をもっと楽しめるようにします。「苦手なことは何か」「何が課題となっているのか」等の聞き取り調査を実施して内容を検討します。

【工程表】

年度	全体	村民	村（生涯学習課）
R3	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取り調査、周知 事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 男性への参加呼びかけ、聞き取り調査 事業への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取り調査、周知 事業の計画、実施
R4	↓	↓	↓
R5	↓	↓	↓
R6	↓	↓	↓
R7	↓	↓	↓

事業名 「いい本、たまには、てにする」運動

前計画からの継続事業であり、作家との交流、地域の地理・歴史と連携したイベント等を通じ読書のおもしろさの幅をひろげ、家庭での読書を推進します。

推進委員会の設立とともに司書の配置を目指します。司書を中心として読み聞かせボランティアの育成等メンバーの充実を進め、事業の詳細を検討します。

また、以前からの取り組みである読書マラソンや手作り絵本プレゼントとあわせ、楽しみの幅を広げる工夫を行います。

【工程表】

年度	全体	村民	村 (教育課・生涯学習課)
R3	<ul style="list-style-type: none"> 推進グループ設立 読書実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせボランティアと協力、グループメンバーの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 司書の配置検討、読書の推進
R4	<ul style="list-style-type: none"> 体制の充実 企画検討 	↓	↓
R5	<ul style="list-style-type: none"> 読書マラソン 	<ul style="list-style-type: none"> イベント実施 	<ul style="list-style-type: none"> 司書の企画参加
R6	<ul style="list-style-type: none"> 手作り絵本プレゼント 	↓	↓
R7	↓	↓	↓

2-9 文化

(1) 施策と事業一覧

文化分野の柱：いいたてを語り、いいたてを喰（は）み、いいたてと過ごす文化

文化・芸能の継承

文化財の保護

- 震災により流失・喪失の危機にある村の文化財を発掘、保存すると共に村民への啓発機会を創出する
- 震災に関する体験は世界に類をみない貴重な記録であり、飯舘村デジタルアーカイブで整理する

地域文化・芸能の継承

- 祭りの力を使った「つながり」の活性化を奨励する
- 発表等「晴れの場」の確保や情報発信に対して側面支援を行う
- 【重点事業】いいたてようつべ^{※1}事業（⇒P58）
- 【重点事業】いいたて物語プロジェクト実施事業（⇒P59）

暮らしや文化の活性化

食文化の保存、継承、活用

- 学校教育、社会教育と連携し、凍み食材を活かした料理の継承と、活用を図る
- 【重点事業】いいたて食堂プロジェクト実施事業（⇒P60）

村内外の交流の促進

- 【重点事業】いいたて時間プロジェクト実施事業（⇒P60）

芸術・文化活動の促進

芸術・文化に触れる機会の充実

- 村民が芸術や文化に触れる機会や習う機会を増やすため、ソフト事業の仕組みの検討を行う

※1 ようつべ：インターネット上の動画共有サイトの名前をローマ字読みした言葉。

(2) 重点事業

事業名 いいたてようつべ事業

村の文化・芸能について動画や記録誌（冊子等）に記録を保存、継承します。

事業では上演や教習の様子を動画で保存すると同時に、SNS を媒体とすることで、不特定多数が見ることができるようになります。村民は教習の教え手となることや視聴を通じての参加ができるようになります。動画や SNS 等を楽しむための操作は「時を満喫・人生をもっと楽しく」講座で習得を促します。福祉分野の「村民取材班導入事業」とあわせて実施し、交流事業等で動画等を活用します。

【工程表】

年度	全体	村民	村（生涯学習課）
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・ようつべ企画委員会設立 ・工程作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区保存会依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録収集
R4	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、芸能記録収集 ・文化芸能選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録映像提供 	
R5	<ul style="list-style-type: none"> ・記録収集、編集や配信の開始 		<ul style="list-style-type: none"> ・一般 I T 教室
R6			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対象の I T 教室
R7		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も簡単に I T 活用して動画視聴 	



事業名 いいたて物語プロジェクト実施事業

地域伝承の掘り起こし及び「ふるさと」の学びに通じる保存活動を行います。

村には地域と紐づいた伝承が多く残されていますが、何もしなければ風化してしまいます。

聞き取り調査を元に、伝承を地図に落とし込んだ物語マップ・紙芝居の作成や学習会の開催、マップに基づく村の案内人を育成します。また、紙芝居上演に向けてメンバーを村民から募集し劇団を結成、育成します。

【工程表】

年度	全体	村民	村（生涯学習課）
R3	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト全体構想 文化財関係委員他 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の伝承の掘り起こし 村民への聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の伝承の掘り起こし (これまで出版された本を含む)
R4	<ul style="list-style-type: none"> 物語マップづくり ふるさとを学ぶ学習会開催 		
R5	<ul style="list-style-type: none"> 物語マップ案内人育成塾 紙芝居原案作成 	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居脚本等制作 	
R6	<ul style="list-style-type: none"> 物語ツアー開催 紙芝居完成 	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居演者募集 劇団結成 	
R7	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居上演／村内外 	<ul style="list-style-type: none"> 稽古／上演 	



事業名 いいたて食堂プロジェクト実施事業

豆料理や漬物等、地域伝統食の見直しを図ると同時に、コミュニティを強くする仕組みをつくります。村の食材を使ってふるさとの名物といえるメニューを立案すること、食事を通して人が交流する場が生まれることを目指します。学校給食の活用も検討します。

【工程表】

年度	全体	村民	村 (教育課・生涯学習課)
R3	<ul style="list-style-type: none"> 食堂となる場所の選定や計画、人員確保 飯館の伝統料理や食文化の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会参加 メニュー検討 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会設立 給食提供や場所の検討 メニュー検討 運営方法検討
R4	<ul style="list-style-type: none"> 提供開始 	↓	<ul style="list-style-type: none"> 送迎等、スクールバスとの連携を検討
R5	<ul style="list-style-type: none"> 伝統料理の工程を動画撮影、記録 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で育てた作物を使用、老人会等と連携 	↓
R6	<ul style="list-style-type: none"> 食事風景を動画配信、移動式給食の提供(キッチンカー、宅配) 	↓	<ul style="list-style-type: none"> 給食や食堂メニューを道の駅等で販売することを検討
R7	↓	↓	↓

事業名 いいたて時間プロジェクト実施事業

各事業等に参加し、村で過ごし、村の人たちと交流した時間を積み立て、通帳等で確認できるようにし、村と関わる意欲を促進します。様々な形で「村と関わった時間」を可視化することにより、村の活動に参加したことを実感できるようにします。村に関わった時間をポイントとして通帳等に積み立て、村の事業への参加費等として還元する等の活用を検討します。

【工程表】

年度	全体	村民	村(生涯学習課)
R3	<ul style="list-style-type: none"> 準備委員会設立 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 手法等調査、検討
R4	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会設立 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会への参加 	↓
R5	<ul style="list-style-type: none"> 通帳等積み立てシステムの社会実験 対象事業の選定 	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な機器等の設置 通帳等の配布
R6	↓	↓	↓
R7	↓	↓	↓